

**令和4年度第1回高松市子ども・子育て支援会議  
事前に提出いただいた御意見・御質問等**

## 【全体について】

No.	御意見・御質問等	回答
1	<p>コロナで臨まない妊娠等に悩む若年層が増えていると助産師から聞きました。早くからの性教育等について積極的に取り組んでいただきたいです。</p>	<p>各学校においては、学習指導要領に基づき、発達段階に応じた内容を、家庭とも連携しながら、保健の授業を中心に指導しております。</p> <p>具体的に、保健の授業では、中学校においては、生殖機能の発達と受精や妊娠について、高等学校においては、中学校の内容に加えて、出産・家族計画や人工妊娠中絶について学習しております。</p> <p>今後も、関係機関と連携しながら、子どもたちが、性に関する正しい知識を身につけ、適切な対処や行動ができる力をつけることができるよう、より実践的なテーマを取り入れた指導の充実を図ってまいります。</p>
2	<p>児童福祉法及び母子保健法の改正により、子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの組織を見直し、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへ一体的に行う機能を有する『子ども家庭センター』の設置が努力義務とされているが、高松市は設置するのですか。</p> <p>また、相談員の一員として、日々保育や保護者支援を担う保育士を参加させる考えはありますか。</p> <p>保育士が働く職域の拡大としてどのような配属をされていますか。</p>	<p>本市におきましては、子どもの安全を確保するため、子ども家庭総合支援拠点をこども女性相談課内に設置しておりますほか、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う、子育て世代包括支援センターを各保健センター・保健ステーション内に設置しております。日頃から、定期的に情報交換を行うなど、密な連携をしているところでございます。</p> <p>この度の法改正に伴う、こども家庭センターの設置については、他自治体の動向も参考にしながら、検討してまいりたいと存じます。</p> <p>また、保育士の配置につきましては、子ども家庭総合支援拠点に配置すべき「子ども家庭支援員」の資格の一つとして保育士がございまして、現在、保育士2名が、家庭その他からの相談に応じて、調査、支援及び指導等に従事しております。</p>

## 【資料1について】

No.	御意見・御質問等	回答
1	<p>No.114 年長児童の赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業について</p> <p>現在行っている地域の中学校と子育て支援拠点の「赤ちゃんふれあい体験授業」ですが、コロナで難しいところはあるものの継続しています。</p> <p>しかし、希望するすべての中学校に出向いていけない現状があります。</p> <p>今後は希望するすべての中学校に出向き、すべての中学生が赤ちゃんとのふれあい体験を通して自分の将来の見通しや命を考えるきっかけにしていきたいと思っております。是非ともお願いいたします。</p>	<p>令和3年度及び令和4年度につきましては、希望するすべての中学校において当事業を実施しているところであります。</p> <p>また、令和5年度につきましても、中学校に対する事業実施の希望調査時期を早め、予算計上していくことで、希望するすべての中学校で実施できるよう努めていくこととしております。</p>

【資料7について】

No.	御意見・御質問等	回答
1	<p>2-4「子育て短期支援事業」の見直ししないことについて</p> <p>現状として、ショート（子育て短期支援事業）を受けられない子どもは子ども女性相談センターで受け入れております。子ども女性相談センターは、本来、虐待を受けた子どもの受入れをするため、親の入院などが理由で一時的に子どもを預かる必要がある場合や定期的に短期間預かりが必要な子どもの場合はショートで受入れしてほしいと考えております。</p> <p>今後の課題として、ショートの受入れ先を増やしてほしい。また、小さい子どもを預かることができる里親の開拓をお願いしたい。それにより身近な場所で預かりサービスが増え、利用者の安心に繋がると考えられます。</p>	<p>子育て短期支援事業のうち、短期入所生活援助事業（ショートステイ）につきましては、3か所の児童福祉施設等において実施しております。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、利用者が増加したと考えられるため、国の通知に基づき、影響前の実績により対応可能と判断し、見直ししないこととしました。ただし、利用を希望される方が増加していることを踏まえ、次年度は、実施施設を1か所増やす予定でございます。</p> <p>今後におきましても、サービスを必要とする方が安心して利用できるよう、里親の活用も含めた実施施設等の拡大について、検討してまいりたいと存じます。</p>